

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県串本町 くしもと町立病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|--------|---------|---------|---------------|------------|
| 条例全部 | 病院事業 | 一般病院 | 100床以上～200床未満 | 民間企業出身 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営 | 8 | - | ド透訓ガ | 救 |
| 人口（人） | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 不採算地区中核病院 | 看護配置 |
| 13,924 | 9,917 | 第2種該当 | - | 10:1 |

| 許可病床（一般） | 許可病床（療養） | 許可病床（結核） |
|------------|------------|---------------|
| 90 | 20 | - |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計） |
| - | - | 110 |
| 最大使用病床（一般） | 最大使用病床（療養） | 最大使用病床（一般+療養） |
| 73 | 16 | 89 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該病院値（当該値） |
| — | 類似病院平均値（平均値） |
| [] | 令和6年度全国平均 |

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

| 機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む) | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|---------------------------------|-----------|-----------|
| - | - | - |
| 年度 | 年度 | 年度 |

I 地域において担っている役割

当病院は、地域の中核病院、新宮二次保健医療圏における二次医療を行う病院、二次救急医療を行う病院としての役割を担っている。治療のみならず、健康増進、疾病予防、リハビリ、健康診断まで包括的な医療を提供している。基幹病院がある新宮市などから地理的に離れており、不採算の診療科も設置しているが、高度な医療が必要な患者様に対しては、これらの病院との連携により対応している。また、災害時には災害支援病院としての役割を担うこととなる。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は一般会計繰入金増加により平均値を上回った。
- ②医業収支比率、③修正医業収支比率は、新病院開院後に減価償却費及び委託料が高くなっていくことに加え、患者1人1日当たり収益が平均値より低いことなどから平均値を下回った。
- ④病床利用率は、平均値を下回った。
- ⑤患者1人1日当たり収益は、近年増加傾向にあるが平均値を下回っており、更なる単価の向上を図っていく。
- ⑦職員給与費の増等により平均値を上回った。
- ⑧材料費の増等により平均値を上回った。
- ⑨累積欠損金比率は、平成27年度に資本金の額の減少により累積欠損金の解消を行い、大きく減少した。令和5年度、令和6年度は累積欠損金が発生したものの平均値を下回った。

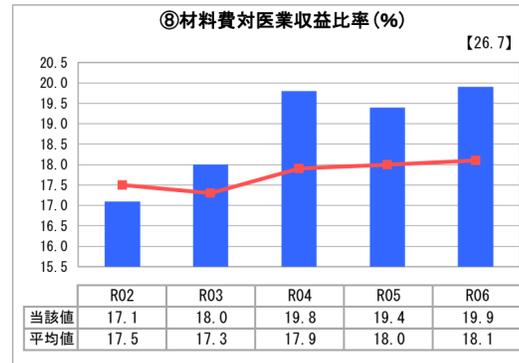
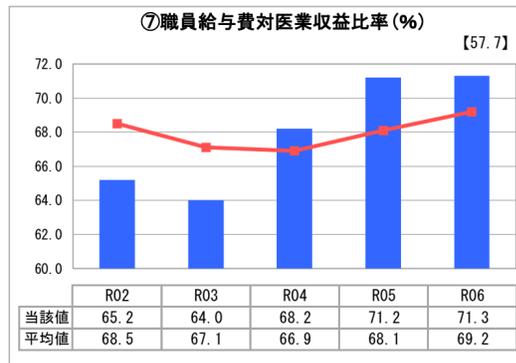
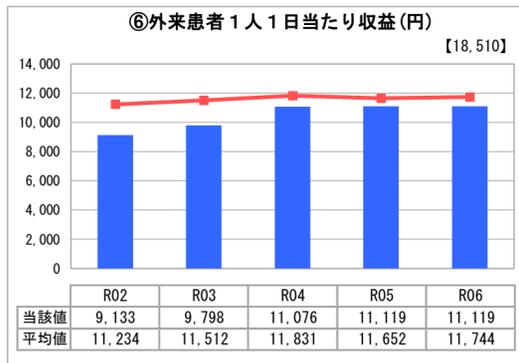
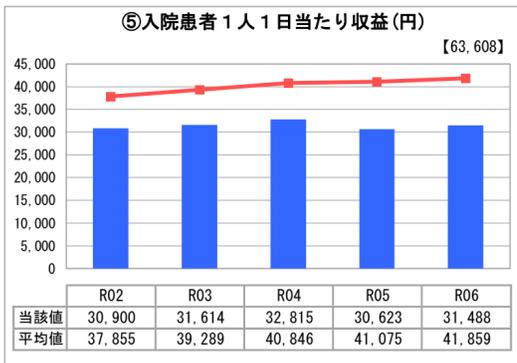
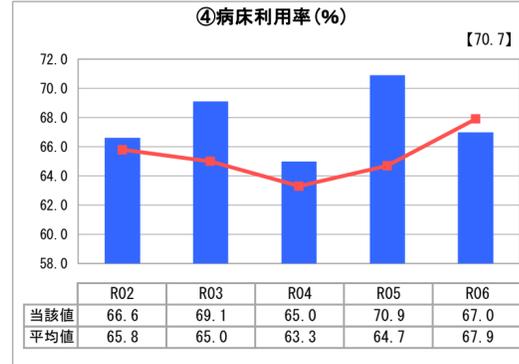
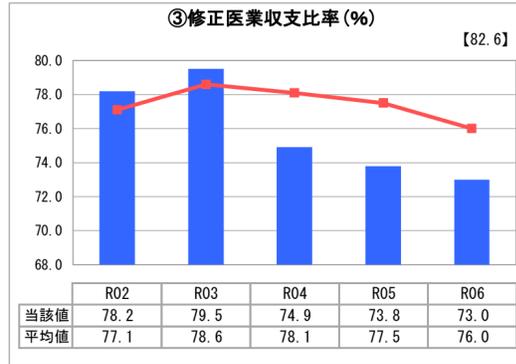
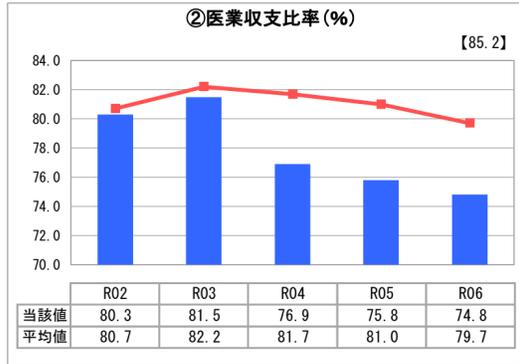
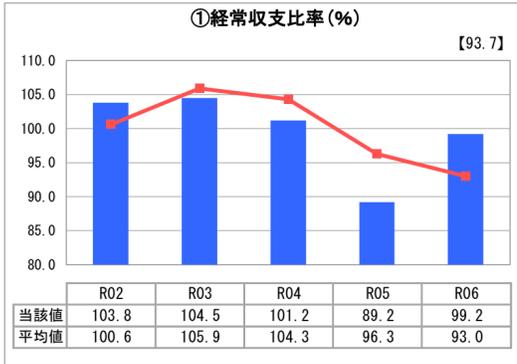
2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は、平成23年11月1日に新病院を開院したところであり、老朽化度は低い状況である。
- ②器械備品減価償却率については、令和5年度に電子カルテ等、令和6年度にCT等の更新を行ったため平均値を下回っている。新病院開院時及び開院後に導入した医療機器の多くが耐用年数を経過してきていることから、計画的に更新することにより更新費用を平準化し、抑制していく必要がある。
- ③1床当たり有形固定資産は、平均値を下回っているが、今後も過剰な投資を行わないよう注視する必要がある。

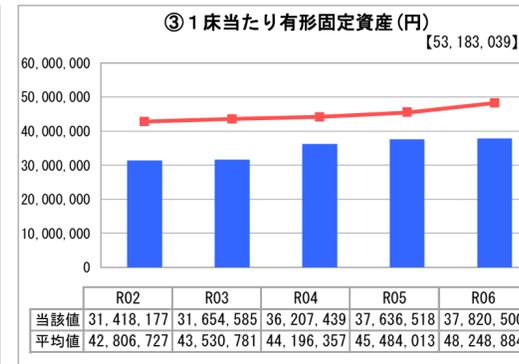
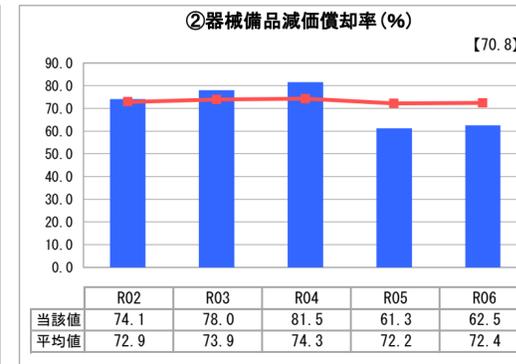
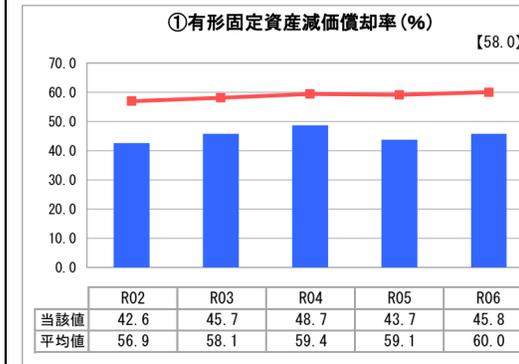
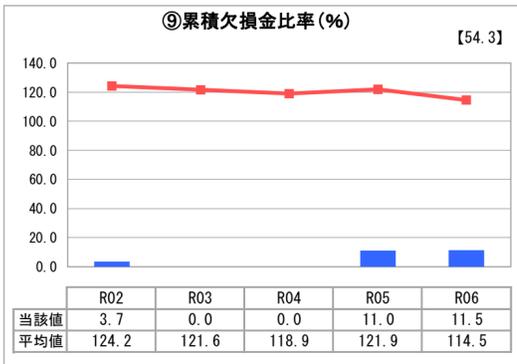
全体総括

串本町の人口は減少を続けており、収益の確保が困難となる一方で、高齢化などにより地域における医療や福祉の提供はより重要となっている。令和6年度は一般会計繰入金増加など資金不足は発生しなかったものの、費用の増加により、令和5年度に続き赤字決算となった。平成23年度の新病院開院時及び開院後に導入した医療機器が更新時期を順次迎えることから計画的に更新し、施設の修繕費用が増加傾向にあることから予防保全を行うなど費用の抑制を図っていく必要がある。関連大学の協力のもと医師の確保を行っている。看護職、医療技術職などの人材については、募集チラシの配布や病院ホームページへの掲載などを行っているものの、苦慮しているところである。就職説明会への参加など求人機会を増やすことにより人材確保に努めていく必要がある。また、物価高や給与費が増加傾向にあることから、診療単価の向上による収益の向上と更なる経費の削減により収支の改善を図ることが今後の目標である。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。